



レポートアジェンダ

1. 目的
2. 開催概要・開催場所
3. 当日の流れ
4. アンケート集計結果
5. 今後について
6. 総括
7. 謝辞

第一回 衛星 WG 情報共有ディスカッション

UNISEC/UNISON 衛星ワーキンググループでは 2014 年 3 月 19 日(水)に衛星情報共有の取り組みとして第 1 回目となるディスカッションを開催した。

本レポートでは、そのディスカッションの報告をする。

開催概要

開催日	2014 年 3 月 19 日(水)
開催場所	東京大学
参加団体数	11 団体
参加者数	38 人

※詳細は本レポート 2 章参照



衛星 WG

東海大学 草野悠太

記入日 : 2014/03/29

1. 目的

(ア) 本取り組みの目的

UNISEC 衛星団体に技術情報を共有し以下の効果を狙う。

- ・各団体での開発活動の促進
- ・将来に UNISEC として、加盟団体が協力し一つのことを行う基盤作り

(イ) 本ディスカッションの目的

情報共有ディスカッションでは、ディスカッション形式で相互に有益な情報を共有し、メンバー同士の横のつながりを強化することを目的とする。また、過去 7 回の発表会で蓄積された情報を整理し、不足している情報を明らかにすることで、今後の情報共有発表会で取り扱うテーマを決定する。

2. 開催概要・開催場所

ディスカッションの概要を Table 1 にまとめる

Table 1 開催概要

開催日	2014 年 3 月 19 日(水)
開催場所	東京大学 本郷キャンパス 7 号館
参加団体数	11 団体 府立大、芝浦工大、首都大、創価大、 筑波大、東海大、東大、日大、CORE、 東工大(松永研)、東工大(大熊研)
参加者数	38 名

3. 当日の流れ

(ア) タイムテーブル

当日のタイムテーブルを Fig.1 に示す。

実施日時	2014/3/19 [WED]	10:00 - 16:00	
実施場所	東京大学		
発表テーマ	過去7回の発表会で得られたデータの整理		

No.	開始	発表終了	終了	所要時間	内容	担当者	備考欄
	10:00	-	10:30		受付	[運営] 磯田、丹野、その他	
	10:30	-	10:45		「衛星WG 情報共有の取組み」に関する説明・アンケート説明 諸注意（誓約書の提出・名簿の管理に関して）	[運営] 嶋津	※ 誓約書回収
	10:45	-	11:00		グループに分かれて自己紹介	[グループごと]	
	11:00	-	12:00		ディスカッション 午前の部	[グループごと]	
	12:00	-	13:00		お昼休憩	-	
	13:00	-	13:50		ディスカッション 午後の部	[グループごと]	
	13:50	-	14:00		議事録の確認	[グループごと]	
	14:00	-	15:00		ディスカッション成果の発表	[全体]	※1グループ持ち時間10分
	15:00	-	15:15		アンケートの記録	-	※5分グループ、10分個人
	15:15	-	15:25		休憩・アンケートの回収	-	※忘れずにアンケート回収
	15:25	-	15:55		UNISEC GLOBALについて	[運営] 近藤	
	15:55	-	16:00		発表会終了・諸連絡	[運営] 嶋津	

Fig. 1 当日タイムテーブル

(イ) ディスカッションの内容

今回のディスカッションでは、電源系、通信系、C&DH 系、熱構造系、姿勢制御系、地上局系、の各グループに分かれて行った。ディスカッションの流れは以下の通りである。

1. 衛星開発の一連のフローを共有する。
2. 過去7回の発表会で蓄積されてきた情報を明確にし、それを共有した衛星開発のフローに照らし合わせ、蓄積情報の不足項目を洗い出す。
3. 洗い出した不足項目には共有の優先順位をつけた上で、作業内容記入シートに記入する。優先順位が高いものから今後の発表会において優先的に取り扱う。
4. さらに、それぞれの作業項目に対して、その作業に置いて発生し得るトラブル・発見方法・解決方法や、他系との調整が必要なこと・調整方法などをリストアップし、共有する。



Fig.2 活動風景

4. アンケート集計結果

当日に行なったアンケート結果を以下にまとめる。

設問内容

A) 情報共有の取組の狙い

1. UNISECに加盟し、人工衛星（探査機も含む）を開発している団体同士の連携を強化すること。
2. 開発に有益な情報を文書化・共有することで各団体での開発活動を促進すること。
3. 将来的にUNISECとして加盟団体が協力しUNITEC-1のような一つのプロジェクトを行う基盤作りをすること。

B) ディスカッション企画の狙い

1. UNISECに加盟し、人工衛星（探査機も含む）を開発している団体同士の連携を強化すること。
2. 過去7回の発表会で蓄積された情報を整理し、不足している情報を明らかにすること。
3. 今後の情報共有発表会で取り扱うテーマを探ること。
4. 企画に参加している一人一人に衛星WGとしてのGive&Takeの形を理解してもらうこと。

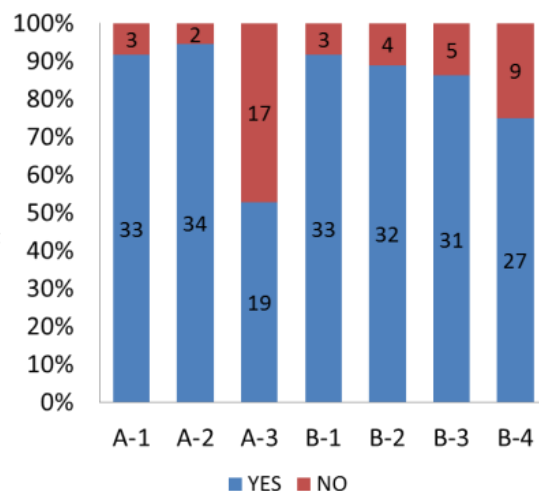


Fig.3 アンケート集計結果①

1.相互にコミュニケーションできた
(一方通行ではなく)

2.他団体との持続可能な繋がりを作れた

3.純粋にディスカッション企画を楽しめた

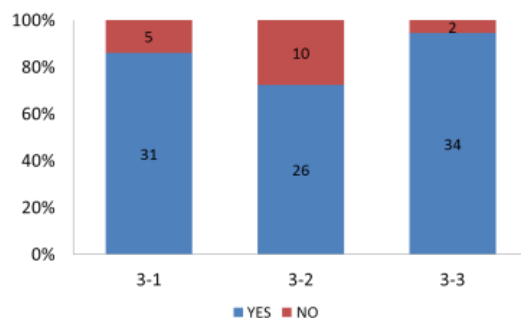


Fig. 4 アンケート集計結果②

以上のアンケート結果より、今回行われた情報共有の狙いやディスカッションの企画の狙いは、概ね理解してもらえており、ディスカッションへの満足度も高い。しかし、A-3の設問にある「将来的にUNISECとして加盟団体が協力しUNITEC-1のような一つのプロジェクトを行う基盤作りをすること。」に関しては理解が少なく、問題意識を持つ必要があると考えられる。

5. 今後について

3月19日(水)に開催したディスカッションから1週間後の3月26日(水)に衛星WG情報共有MTGを大阪府立大学で開催した。そこで今後について話し合いを行なった。

今後は7月末に開催が予定されているUNISEC総会の前日に第8回となる情報共有の発表会を開催する予定である。ここでは、今回のディスカッションにおいて情報共有の必要性が高いと判断された電源系をテーマとして発表会を開催する予定である。

6. 総括

2014年3月19日に東京大学にて本取り組み初となる情報共有のためのディスカッションを開催した。

このディスカッションは初めての取り組みであったこともあり、当日小さなトラブルはあったが、アンケートの集計結果からもわかるように情報共有のために良いディスカッションが出来たと考えている。今後はこのディスカッションの結果を元に、情報共有の質を向上させていくことに努める予定である。また、毎年1回はディスカッションを行なっていきたいと考えている。

7. 謝辞

本発表会の開催に際し、会場の確保から発表会への参加まで様々な場面で多くの方にご協力を頂きました。感謝致します。